

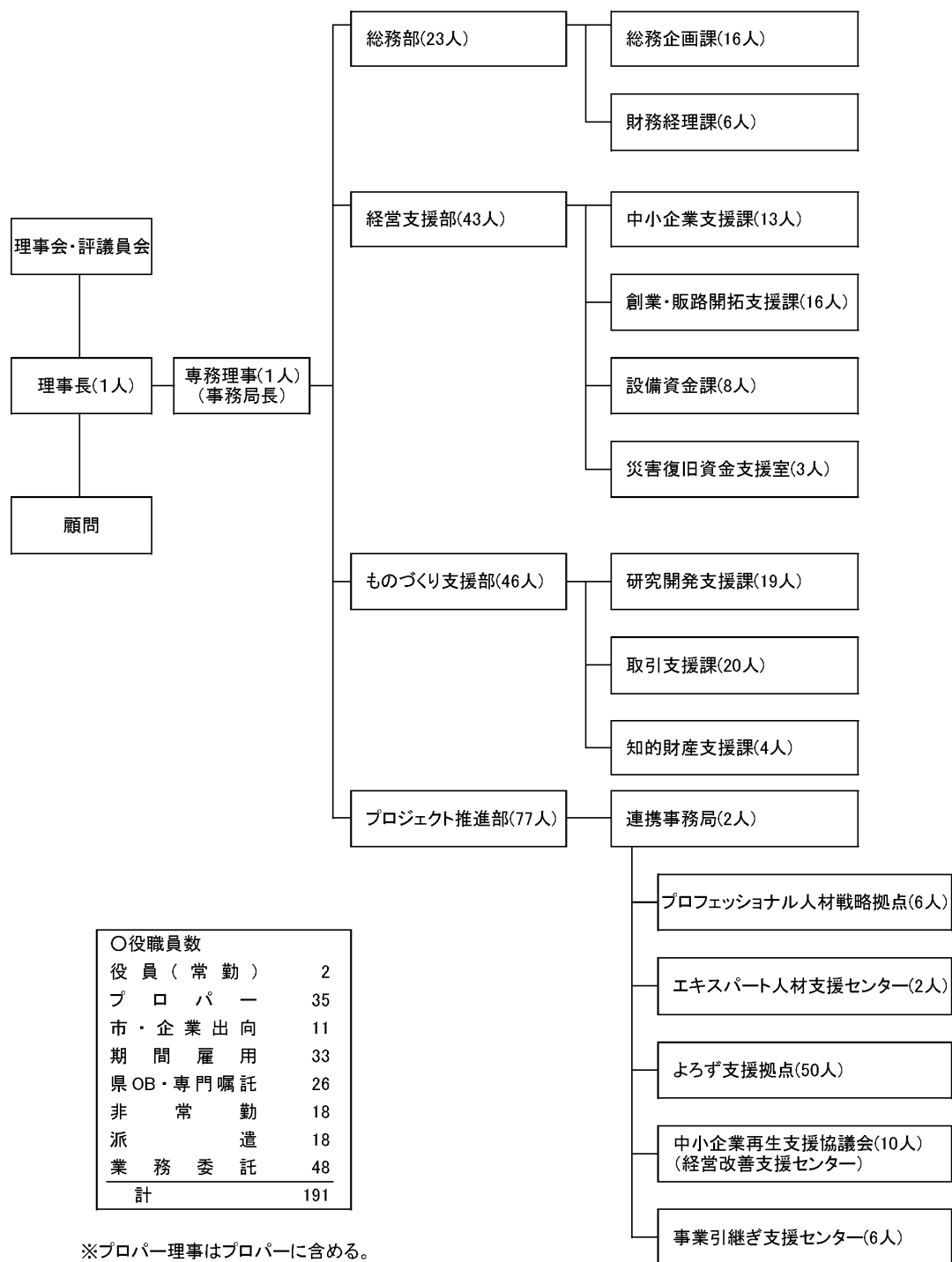
平成 30 年度

事業報告書

公益財団法人岡山県産業振興財団

I 組織図

(平成 31 年 3 月 31 日現在)



Ⅱ 理事会等の開催状況

1 理事会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (平成 30 年 6 月 12 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告について 第 3 号議案 評議員選定委員の選出について 第 4 号議案 平成 30 年度第 1 回評議員会の招集について (報告事項) ・ 理事及び監事の辞任及び選任について
第 2 回 (平成 30 年 6 月 27 日) ※書面決議	(審議事項) 第 1 号議案 専務理事の選定について 第 2 号議案 常勤理事の報酬について
第 3 回 (平成 30 年 11 月 9 日) ※書面決議	(報告事項) ・ 平成 30 年度第 1 回評議員選定委員会の結果について (審議事項) 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 30 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 30 年度借入金最高限度額の変更について 第 4 号議案 平成 30 年度第 2 回評議員会に係る決議の省略(書面決議)について
第 4 回 (平成 31 年 3 月 12 日)	(報告事項) ・ 役員及び評議員の報酬等に関する規程の改正について ・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について (審議事項) 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 30 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 31 年度事業計画について 第 4 号議案 平成 31 年度当初予算について 第 5 号議案 平成 31 年度借入金最高限度額について 第 6 号議案 知財総合支援窓口運營業務の実施及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 平成 30 年度第 3 回評議員会の招集について

2 評議員会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (平成 30 年 6 月 27 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告について 第 3 号議案 役員の辞任及び選任について (報告事項) ・ 評議員選定委員会の委員選出について
第 2 回 (平 30 年 11 月 22 日) ※書面決議	(審議事項) 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 30 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 30 年度借入金最高限度額の変更について
第 3 回 (平成 31 年 3 月 26 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 30 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 31 年度事業計画について 第 4 号議案 平成 31 年度当初予算について 第 5 号議案 平成 31 年度借入金最高限度額について 第 6 号議案 知財総合支援窓口運営業務の実施及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の改正について (その他) ・ 平成 31 年度執行体制について

3 監事監査

開催日	監 査 事 項
平成 30 年 6 月 6 日	平成 29 年度事業報告及び決算報告

4 評議員選定委員会

開催日	審 議 事 項
平成 30 年 8 月 21 日	(報告事項) 報告事項① 評議員の辞任について (審議事項) 第 1 号議案 評議員の選任について

Ⅲ. 総括

平成 30 年度の我が国の経済をみると、昨年夏に相次いだ自然災害により、景気は一時的に押し下げられたものの、企業収益は過去最高を記録し、設備投資の増加や雇用・所得環境が改善する中で、個人消費も持ち直しが続くなど全体的には緩やかな回復が続いています。

岡山県においても、主要製造業の生産は、自動車・工作機械を中心に基調的には増加傾向にあります。しかしながら、人手不足の影響拡大や原材料費の上昇、根強い消費者の節約志向が引き続き中小企業・小規模事業者のマインドに影響を及ぼしている他、7 月の豪雨災害により 1,000 を超える事業者が被災されるなど県内産業は大きな打撃を受けました。

被災事業者への支援には、各行政機関、支援機関等が速やかに緊急対策に着手し、現在、各地で復旧・復興に向けた動きも徐々に見受けられますが、今年 10 月に実施される消費税率引上げや米中の貿易を巡る対立が景気に与える影響など中小企業・小規模事業者の経営動向には引き続き注意を要する状況が続いています。

当財団においては、経営支援部門では、岡山県中小企業支援センター及び認定経営革新等支援機関の役割を担い、専門家の活用や他の支援機関と連携を図りつつ、県内中小企業や創業予定者等が抱える様々な経営課題の解決を支援しました。

加えて、平成 30 年 7 月に豪雨災害で被災した中小企業に対し、支援機関等の要請を元に個別企業の課題に適切に対応できる専門家を派遣し、早期の事業立て直しを支援するとともに災害復旧資金支援室を設置し、グループ補助金の交付決定を受けた事業者に対して行う無利子貸付に係る準備を行い、被災事業者の事業復旧を後押ししています。

また、経営革新等にチャレンジする中小企業には、経営革新計画の策定支援、計画策定に必要な人材確保に係る支援、経営革新計画承認後のフォローアップを実施しました。

さらに、中小企業における円滑な事業承継に資するためのシンポジウム、研修会及び専門家派遣を実施し、事業承継における様々な段階で支援を行ったほか、支援機関等で構成

する事業承継ネットワークを新たに構築し、支援機関及び専門家と連携した事業承継支援に取り組んだほか、後継者を対象に必要な知識習得及び人脈形成等を目的とした研修を実施しました。また、中小企業の働き方改革を支援するための専門家派遣によるモデル事例の策定及び働き方改革に取り組む企業担当者間の交流会を開催しました。

ベンチャー企業・創業者に対しては、相談会やセミナー、創業に必要な知識・ノウハウを習得するための研修、金融機関や投資家とのマッチング、ビジネスプランコンテスト及び創業者のネットワーク形成などを総合的に支援しました。

県内製品の販路開拓では、県内外バイヤーとの商談及び展示の場を提供、首都圏バイヤーとの出前商談会、大規模展示会への出展支援等を通じて、開発商品のブラッシュアップやブランド力強化を図りました。また、安全で高品質な県内農林水産物や加工食品の輸出促進に向けた支援を実施しました。

加えて、経営改善に取り組む就労継続支援A型事業所に対し、専門家派遣や経営の意識改革、経営改善に向けた支援を行うとともに販路開拓に係る支援に取り組みました。

設備貸与事業においては、引き続き創業者、小規模企業者及び中小企業者等に対して円滑な設備導入のための支援を行うとともに、巡回指導や専門家派遣による課題解決など、貸与後のフォローアップを実施しました。

ものづくり支援部門では、県内ものづくり企業の持続的な発展につながるよう、新技術・新製品のきっかけづくりから研究開発の推進まで、効果的かつ総合的な支援を行い、研究開発現場での活用が期待される人工知能やIoTなどいわゆる第4次産業革命関連技術や、EV普及の急激な進展に対応するとともに、自動運転技術を始めとする次世代自動車技術の研究開発などを促進するため、専任コーディネーターの体制を充実させ、新産業・新事業の創出に繋げました。

製造業の下請取引支援では、「ものづくり県おかやま」を県内外へアピールするとともに県外の手先メーカーとのマッチング機会を創出し、県内ものづくり企業の販路拡大を図る

ために「おかやまテクノロジー展（O T E X）2019」をコンベックス岡山で2日間開催し、1万人を超える来場者を動員しました。

また、個別企業ごとにマッチする取引先を紹介するとともに、発注企業のニーズに応えるため、大都市圏や個別での商談会、大手企業を対象とした展示商談会等の開催、国内外の展示会への出展支援を行い、効率的なマッチングの場を設けることで、多くの成約につなげることができました。

さらに、主に大都市圏の発注案件を開拓するために関東地区、東海地区、関西地区、九州地区に広域専門調査員を設置し、受注機会の拡大に努めました。

ものづくり企業の販路開拓支援では、「岡山ビジネスサポーターズ」（首都圏在住の岡山にゆかりのある経営者等）を活用して、開発商品のブラッシュアップやブランド力強化を図りました。

プロジェクト推進部門では、「岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点」及び「岡山県エキスパート人材支援センター」が、都市部の大手企業等で豊富な経験を有する「プロフェッショナル人材」や高度な専門技術・技能を保有する「エキスパート人材」と、人材確保に悩む県内中堅・中小企業とのマッチングを支援しました。

「岡山県よろず支援拠点」では、本部に加え、岡山市、倉敷市及び津山市に設置しているサテライトオフィスで夜間や休日でも相談者が利用できる環境の整備を進めるとともに、関係機関と連携して「出前よろず支援拠点」を充実するなど、県内中小企業等の課題解決に努めました。

事業再生や経営改善に取り組む中小企業に対しては、「岡山県中小企業再生支援協議会」事務局として、これまで抜本的な再生事業を数多く生み出してきており、今年度も引き続き、関係機関と協議・連携を進めながら質の高い企業再生に取り組みました。また「岡山県経営改善支援センター」を活用して、経営改善計画及び早期経営改善計画の策定支援やそのフォローアップも実施しました。

さらに、事業引継ぎに関しても、「岡山県事業引継ぎ支援センター」において、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援を図りました。

産業人材の育成に関しては、企業からの人材育成のニーズに応えるため、経営者・新入社員など階層別に、経営管理・労務・生産・技術など分野別に体系的カリキュラムを整備し、専門人材やビジネスリーダー、後継者の育成などの研修を実施しました。

またグローバル支援として、日本人学生の留学先での実践活動を通じ、地域を活性化するリーダー候補を育成しました。また、アジアからの留学生を企業のグローバル展開に資するビジネス人材へと育成するとともに、県内企業との就職マッチング等を行い、企業の海外における事業展開の促進を支援しました。

情報化支援に関しては、ITによる経営合理化、経営基盤強化を図るために、最新動向などを取り入れたセミナーや業務に役立てることができる研修会を開催したほか、県内支援機関と緊密な連携を図り、情報を共有しながら、有益な政策情報、セミナー情報、イベント情報等のタイムリーな発信に努めました。

また、「テクノサポート岡山」の管理者として、施設内の技術情報ライブラリー、展示室、会議室等の管理運営を行いました。

このように平成30年度においても、当財団の役職員一人ひとりが、公益財団法人としての使命と責任を再認識した上で、「頑張る中小企業の応援団」として、他の支援機関をはじめ金融機関、研究機関、大学等とも連携を密にしながら、総力を挙げてニーズに即した事業の遂行に取り組みました。

Ⅳ 活力と創造性のある中小企業の育成（経営支援部事業）

中小企業支援法に基づく岡山県中小企業支援センター及び中小企業経営力強化支援法に基づく認定経営革新等支援機関として、県内中小企業の経営基盤の強化に向け、他の支援機関と連携しながら窓口相談を常時受けるとともに、創業、販路拡大、経営革新及び経営力向上に向けた取組を支援しました。

1 岡山県中小企業支援センターの運営

（１）総合相談窓口の運営（県委託事業他）

- ① 中小企業が抱える経営・生産管理等に関する幅広い課題について、窓口、電話、訪問及び「しんきん合同ビジネス交流会」等の各種相談会において相談に対応しました。

・相談件数 1,652 件（963 社）
〔内、7月豪雨災害関連相談 197 件（130 社）〕

- ② 事業説明会の開催を通じて財団事業の周知を図りました。さらに個別相談会を開催し、中小企業の各種経営課題について相談対応を行いました。

・事業説明会・個別相談会の開催 1 回（事業説明会：70 人、個別相談：9 件）

- ③ 中小企業支援センター事業等県制度だけでなく、中小企業庁が運営する総合支援ポータルサイト「ミラサポ」に搭載された専門家派遣システムも活用しつつ、中小企業診断士等の専門家と連携して中小企業が抱える経営課題の解決を支援しました。

・専門家の派遣 196 社（688 回）

＜内訳＞

岡山県中小企業支援センター専門家派遣制度「成長企業等支援事業」 13 社（38 回）

岡山県中小企業支援センター「中小企業 BCP 策定支援事業」 5 社（14 回）

岡山県中小企業支援センター「自動車関連産業生産性向上等支援事業」 6 社（18 回）

岡山県中小企業支援センター「被災中小企業への個別専門家派遣事業」 21 先（118 回）

民間委託「プッシュ型事業承継支援高度化事業」 13 社（20 回）

県委託「事業承継推進事業」 9 社（24 回）

県委託「事業承継促進事業」 1 社（3 回）

県委託「働き方改革推進体制構築モデル事業」 20 社（74 回）

県委託「経営革新推進事業」	19 社（ 87 回）
「ミラサポ」専門家派遣システム	12 社（ 31 回）
県委託「起業家人材育成支援事業」	30 者（ 82 回）
美作県民局委託	
「コミュニティビジネスプラン応募フォローアップ事業」	10 者（ 30 回）
備中県民局委託「全国に飛び出せ！備中地域ブランド育成事業」	10 社（ 38 回）
岡山市委託「ものづくり企業等ブランド力向上支援事業」	7 社（ 28 回）
県委託「A型事業所経営改善応援事業」	9 事業所（ 44 回）
自主事業「設備貸与推進事業」	11 社（ 39 回）

- ④ 中小企業向けに BCP（事業継続計画）及び情報リスク管理の専門家を講師とするセミナーを開催し、普及啓発に取り組みました。また BCP 策定に意欲を有する中小企業を対象に専門家派遣を行い、県内中小企業の BCP 策定を支援しました。

・BCP 普及啓発セミナー	1 回（70 人）
・専門家による BCP 策定支援	5 社（14 回）※再掲

- ⑤ 県内自動車関連企業に対し、専門家派遣を行い、生産性向上等の課題解決を支援しました。

・専門家による生産性向上等支援	6 社（18 回）※再掲
-----------------	--------------

- ⑥ 平成 30 年 7 月豪雨災害で被災した中小企業に対し、支援機関等の要請を元に、個別企業の課題に適切に対応できる専門家を派遣することにより、早期の事業立て直しを支援しました。

・被災中小企業への個別専門家派遣事業	21 先（118 回）※再掲
--------------------	----------------

（2）事業承継の支援（民間委託事業、県委託事業）

支援機関 9 1 機関による「岡山県事業承継ネットワーク」を設立するとともに、商工団体（商工会議所、商工会、中小企業団体中央会及び当財団）及び一部金融機関により事業承継診断を実施しました。事業承継診断を通じて見出された事業承継に関する課題について、支援機関、事業承継コーディネーター、ブロックコーディネーター及び専門家が連携して課題解決を支援しました。さらに県事業により、専門家による

企業価値向上支援を実施しました。

また、事業引継ぎ支援センター等と連携し、事業承継に関する普及啓発と課題解決を支援するため、専門家によるセミナー、個別相談会及び研修会を開催するとともに、専門家を派遣し、事業承継に向けた課題解決を支援しました。

① プッシュ型事業承継支援高度化事業（民間委託事業）

- ・岡山県事業承継ネットワーク全体会議 2 回（91 機関）
- ・事業承継診断 1,434 件
- ・コーディネーター派遣 159 社（183 回）
- ・専門家派遣 13 社（20 回）※再掲

② 事業承継推進事業（県委託事業）

- ・専門家派遣 9 社（24 回）※再掲

③ 事業承継促進事業（県委託事業）

- ・事業承継シンポジウム&個別相談会の開催 3 回
(岡山会場：29 人、倉敷会場：24 人、津山会場：29 人)
- ・事業承継計画策定研修会の開催 1 コース
(第 1 回：18 人、第 2 回：15 人、第 3 回：12 人、第 4 回：12 人)
- ・専門家派遣 1 社（3 回）※再掲

(3) 働き方改革推進体制構築モデル事業（県委託事業）

働き方改革を推進するため、専門家を派遣して課題解決を支援するとともに、先進的取組企業との交流会等を実施しました。

- ・専門家派遣 20 社（74 回）※再掲
- ・交流会 2 回（岡山会場 38 人、津山会場 17 人）

(4) 後継者の育成（自主事業）

中小企業の後継者等を対象に、経営者としての意識醸成を促す「後継者育成塾（第 13 期）」を開催し、塾生 13 人に対して研修を行うとともに塾生間のネットワーク形成を支援しました。

また、修了生で構成する「吉備継成会（179 名）」の活動を支援しました。

- ・後継者育成塾の開催 1 コース (20 回)
- ・吉備継成会の開催 7 回

2 経営革新の支援

(1) 経営革新計画の承認支援 (県委託事業)

中小企業者等の作成した経営革新計画の県による承認をサポートするため、審査及び指導助言を行いました。

また、経営革新に関心のある中小企業等を対象に経営革新セミナーを開催することで、制度利用の一層の促進を図るとともに、革新計画終了企業のうち成果が顕著であり、他の模範となる企業を表彰するなど、総合的な支援を実施しました。

- ・審査及び指導助言 115 件
- ・経営革新セミナーの開催 1 回 (84 人)
- ・経営革新企業表彰の実施 1 回 (グランプリ 1 社、優秀賞 2 社)

(2) 経営革新計画の推進 (県委託事業)

経営革新計画の策定や新事業展開に必要な人材を、派遣会社を通じて派遣し、経営革新計画の推進を支援しました。

また、経営革新計画の策定や検証・改善に必要な中小企業診断士等の専門家を派遣しました。

- ・人材の派遣 (3 ケ月) 8 社 (8 人)
- ・専門家派遣 19 社 (87 回) ※再掲

(3) 経営革新企業の「稼ぐ力」向上支援 (県委託事業)

経営革新計画の策定段階において、実践的なマーケティング戦略講座を実施し、マーケティング人材の育成を図るとともに、経営革新計画の承認を得て取り組む事業に対し、技術力等を評価し、信用力の向上を支援しました。

- ・マーケティング戦略講座 (2 日間) 1 コース (第 1 回 26 人、第 2 回 26 人)
- ・技術力等評価 6 社

3 創業の支援

(1) 創業後のフォローアップ支援（民間委託・自主事業）

国の創業補助金を活用し新たな起業・創業や第二創業を行った者に対して事業化及び収益状況等を調査し、必要なフォローアップを行いました。

- ・事業化等状況報告書及び決算書の徴求、報告内容確認及び補助金支給後報告書による
(独) 中小企業基盤整備機構への報告
- ・創業者等において納付すべき収益が発生した際の補助金返納手続
- ・事業廃止承認申請書、登録変更届の受理、記録

(2) 女性創業者の育成支援（県委託事業）

男女共同参画推進センター（ウィズセンター）内に設置されている女性創業サポートセンターにおいて、創業前後の女性を対象に創業における基礎知識の研修や、実践的な内容による応用力を習得する研修を開催しました。

また、活躍中の女性起業家による講演や県内の女性起業家と情報・意見交換を行う場の提供及び各種相談への対応等を行い、女性の創業を総合的に支援しました。

- ・相談件数 296 件
- ・女性創業支援研修の開催（5 日間） 2 回（創業塾：21 人、経営塾：14 人）
- ・女性起業家交流会 1 回(43 人)
- ・女性創業セミナー・交流会の開催 2 回(46 人、43 人)
- ・中小企業庁「平成 30 年度創業機運醸成賞」受賞

(3) 起業家人材の育成支援（県委託事業）

起業予定者を対象に研修を企画・実施し、ビジネスに関するノウハウや基礎知識、各種専門知識の習得を促すほか、フォローアップのための創業セミナー及び個別相談会を開催しました。

また、創業後の不安定な時期の創業者にそれぞれの課題に応じた専門家を派遣し、フォローアップを行いました。

- ・起業家育成研修（10 日間） 1 回（20 人）
- ・創業&フォローアップセミナー 1 回（参加者 56 人、個別相談 22 件）
- ・専門家の派遣 30 者（82 回）※再掲

(4) ベンチャー企業の育成支援（県委託事業）

成長が期待されるベンチャー企業を対象に、ハンズオン支援を行うとともにベンチャーキャピタルや金融機関とのマッチング会等を通じて、ビジネスパートナー等との出会いの場を提供し、事業発展を支援しました。

- ・ベンチャーキャピタル、金融機関とのマッチング会

2 回（参加企業 第 1 回 5 社、第 2 回 5 社）

(5) ベンチャービジネスの推進（県委託事業）

創業者のネットワークを促す「創業者サロン」を運営し、互いの知識・技能を学び、異業種交流を通じた経営者としての資質向上、企業の成長・安定化を支援しました。

また、創業支援機関、金融機関と連携し県内で起業意欲を有する個人や団体から新規性・独創性のあるビジネスプランを全国募集し、ビジネスプランコンテストを実施しました。優秀なプランについては、起業家支援に関心を有する 73 企業・団体のサポーターとマッチングを行い、サポーター企業の強みを生かしたコンサルティング、メディア展開、事業連携等のサポートに繋がりました。

- ・創業者サロン

会員数 128 人（平成 30 年度末時点）

定例会 8 回

- ・ビジネスプランコンテストの開催

1 回（応募件数：81 件）

10 名のファイナリストに対して、最終的に 58 企業・団体が合計 167 件のサポーター賞を授与

(6) コミュニティビジネスプラン応募フォローアップ事業（美作県民局委託事業）

過年度のコミュニティビジネスプランコンテスト応募者へのフォローアップ調査を実施し、希望するものに対する創業・事業拡大に係る個別支援を行いました。

- ・コンテスト応募者へのフォローアップ調査

24 件

- ・創業・事業拡大に係る個別支援（専門家の派遣）

10 者（30 回）※再掲

4 販路開拓・拡大支援

(1) 新商品の販路開拓支援（県委託事業）

優れた新商品・サービス等を有するにもかかわらず、メーカーや小売店等との接点がなく、販路開拓ができていない中小企業等を支援するため、県内外で県産品の販路開拓支援を行いました。

- ・ブラッシュアップ研修 1 回（40 人）
- ・おかやま新商品フェスタ 2019WINTER-販路開拓商談会-の開催
1 回（参加セラー81 社、参加バイヤー47 社）
個別商談件数 378 件、商談成立 24 件
- ・FOODEX JAPAN 2019（第 44 回国際食品・飲料展）への出展支援
1 回（16 社）※備前県民局事業含む
商談件数 4,045 件、商談成立 6 件
（本事業分 商談件数 1,878 件、商談成立 5 件）

(2) 「食」と「アグリ」に関する商品の販路開拓支援（民間委託事業）

「食」と「アグリ」をテーマに、県内中小企業等の持つ優れた新商品・オリジナル商品を展示するとともにバイヤーとの個別商談を行う展示商談会を開催し、新たな販路開拓を支援しました。

- ・集合プレゼンテーション研修 1 回（60 名）
- ・トマトアグリフードフェアの開催 1 回（1,274 名）
展示商談会 出展 58 団体（58 ブース、うち 30 ブースで商品販売）
商談成立 34 件
個別商談会 セラー82 社、バイヤー45 社（商談件数 335 件、商談成立 45 件）

(3) 備前おかやま販路開拓支援事業（備前県民局委託事業）

備前地域のものづくり企業を対象に首都圏での出前展示商談会を開催し、首都圏での販路開拓を図るとともに、個別アドバイスを実施することにより、商品改良等を支援しました。

- ・首都圏出前商談会の開催 1 回
バイヤー10 社、セラー 12 社 商談件数 59 件、商談成立 3 件
- ・フィードバック研修会の開催 12 社

(4) 全国に飛び出せ！備中地域ブランド育成事業（備中県民局委託事業）

備中地域の中小企業等を対象に専門家によるブラッシュアップやスキルアップのための支援を行うとともに、展示商談会への出展による販路開拓等の支援により、特産品等の売れ筋商品化を図りました。

- ・専門家の派遣 10 社（38 回）※再掲
- ・プレゼンテーション研修 2 回（27 名）
- ・FOODEX JAPAN 2019（第 44 回国際食品・飲料展）への出展支援
1 回（6 社）
商談件数 2,167 件、商談成立 1 件

(5) 東京サポートデスクの設置（自主事業）

岡山県東京事務所内に県内中小企業等のためのサポートデスクを設置し、プロモーターが首都圏での販路開拓、ビジネスマッチングを支援しました。

- ・県内中小企業の首都圏での販路開拓支援
- ・首都圏バイヤー訪問等情報収集

(6) 台湾・香港での「農林水産物食品」輸出促進事業 及び海外への「農林水産物・食品」販路開拓支援事業（県委託事業）

新たな販路として海外市場への展開を目指す県内農業団体や中小企業等が有する農林水産物及びその加工品の販路開拓を支援するため、研修の開催、香港・国内での見本市への出展支援及び台湾・香港のスーパーでのテストマーケティングを支援しました。

- ・台湾「岡山フェア」開催 1 回（台湾・微風廣場 1 店舗）
出展 10 社、68 商品
- ・香港 Food Expo2018 出展 1 回（出展 4 社）
商談スペース 出展 4 社、商談件数 543 件、商談成立 10 件（売上高 156 千円）
※商談スペースの販売は最終日のみ
- ・第 2 回“日本の食品” 輸出 EXPO 出展
1 回（出展 7 社）商談件数 296 件、商談成立 1 件
- ・イオン香港「鳥取岡山観光物産展」開催
1 回（イオン香港コーンヒル店）
出展 12 社、66 商品（売上高 2,504 千円）

(7) ものづくり企業等ブランド力向上支援事業（岡山市委託事業）

岡山市内の企業を対象に、専門家がブランド力向上やマーケティング、プロモーション等を含む総合的なアドバイスにより、売れる仕組みづくりを支援しました。

- ・ブランド力向上セミナーの開催 1 回（24 人）
- ・集中講座 1 回（7 社）
- ・個別支援 7 社（28 回）※再掲

(8) 就労継続支援 A 型事業所の経営改善支援（県委託事業）

就労継続支援 A 型事業所に専門家を派遣し、技術、ブランディング等の経営課題の解決を支援するとともに、展示・商談会等を通じた販路開拓を支援しました。

- ・ A 型事業所経営者向けセミナー・個別相談会の開催
1 回（59 名）
- ・ おかやまテクノロジー展 (OTEX) 2019 の無料相談・ P R コーナーへの出展
1 回（ A 型事業所紹介ガイドブック作成）
- ・ P R 研修会 1 回（38 名）
- ・ 一般企業向けセミナー・個別商談会の開催
就労継続支援 A 型事業所紹介セミナー 1 回（90 名）
個別商談会 企業等 32 社、 A 型事業所 32 事業所（商談件数 37 件）
- ・ 専門家の派遣 9 事業所
経営改善に向けた個別支援 4 事業所（24 回）※再掲
ブランディング等 5 事業所（20 回）※再掲
- ・ 個別あっせん 6 件

5 設備導入支援

設備貸与（自主事業、割賦損料補助は県補助事業）

創業者、小規模企業者及び中小企業者等が希望する設備を財団が購入し、経営状況に応じた料率（年 1.46%～2.64%）で割賦販売又はリースすることにより設備導入を支援しました。

また、経営革新承認等一定の条件を満たす企業が設備投資をする場合、「経営革新等設備投資促進枠」として 5 年間の特別料率（年 0.73%～1.32%）と、「割賦損料助成金枠」として 5 年間の支払済み損料の半分の助成することにより貸与を実施しまし

た。

(ア) 割賦販売	501,711 千円
・ 経営革新等設備投資促進枠	199,233 千円
・ 割賦損料助成金枠	200,000 千円
・ 割賦（基準枠）	102,478 千円
(イ) リース	1,728 千円
・ リース（基準枠）	1,728 千円
(ウ) 割賦販売及びリース合計	503,439 千円
・ 経営革新等設備投資促進枠	199,233 千円
・ 割賦損料助成金枠	200,000 千円
・ 割賦及びリース（基準枠）	104,206 千円

6 中小企業高度化事業に係る診断・助言（県委託事業）

中小企業高度化事業に取り組む協同組合等に対して診断・助言等を行いました。

・ 診断、助言	10 件
・ フォローアップ	4 件

7 高度化資金・近代化資金の債権管理電算データ保守管理（県委託事業）

岡山県中小企業高度化資金及び岡山県中小企業設備近代化資金に係る債権管理データ及び電算システムの保守に関する事務並びにこれら債権に附帯する事務を行いました。

8 競争力強化対策事業（県委託事業）

新分野進出や新商品・新サービスの開発等の新たな取組や生産性の向上などを目的とした設備投資を行う中小企業者に対し、経営革新資金（県融資制度）の融資実行に必要な事業計画の審査・推薦の業務を行いました。

また、「製造業投資サポート資金」並びに「岡山県創業ゼロ金利補助金」の利用者に対して必要に応じフォローアップ業務を行いました。

・ 経営革新資金に係る推薦	1 件
・ 製造業投資サポート資金に係るフォローアップ	4 件
・ 創業ゼロ金利補助金に係るフォローアップ	5 件

9 設備貸与推進事業（自主事業）

設備貸与利用企業に対し、業績回復のきっかけを作る目的で経営改善支援のための専門家派遣を行い、経営改善計画の策定や生産活動・営業活動の改善等の支援を実施しました。

・専門家派遣 11 件

10 グループ補助金無利子貸付事業

平成 30 年 7 月豪雨で被災された中小企業等が施設・設備の復旧を行う場合に、グループ補助金の交付を受けた後、自己負担分への無利子貸付を行う事業を平成 30 年 10 月から実施しました。

・相談件数 27 件

・申し込み件数 2 件

・審査件数 2 件

・決定件数 1 件

V コーディネート機能を発揮し新産業を創出（ものづくり支援部事業）

県内中小企業が、市場ニーズに応じた製品やサービスをより迅速に開発しタイムリーに市場に投入することができるよう、企業や大学などが有する開発ニーズや技術シーズのマッチングによる研究開発から販路拡大までの総合的支援を推進しました。

特にEV普及の急激な進展、自動運転技術を始めとする次世代自動車技術の研究開発など、自動車産業を取り巻く変化に対応する提案力と競争力を持つ企業への成長を促しました。

また、全国大手メーカーに対して県内受注企業の優れた加工技術等を広くPRし、新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図るため、好評を博した「おかやまテクノロジー展（OTEX）」を引き続き開催しました。

1 産学官連携の推進

（１）技術研究会の活動支援（基金事業・自主事業）

分野別技術研究会（岡山県食品新技術応用研究会、岡山県精密生産技術研究会、おかやまバイオアクティブ研究会）について、産学官連携のもと、研究開発活動や交流活動等を支援し、組織の活性化を図りながら、研究成果の発信と産業界での活用に努めました。

- ・講演会、シンポジウムの開催、先進事例視察などの活動支援
（シンポジウム6回、講演会等9回、視察3回、研究室訪問1回）

（２）異業種交流活動の支援（基金事業・自主事業）

岡山県異業種交流プラザ協議会（10グループ・200人）の活動をコーディネートし、会員相互の交流の促進や新事業創出の促進を図りました。また、'82岡山県技術交流プラザ、'84岡山県技術交流プラザ、'91岡山県技術・市場交流プラザの事務局として、活動支援を行いました。

- ・特別セミナーの開催 1回
- ・「プラザのつどい」の開催 1回

（３）産学金官連携強化事業（県委託事業）

産学金官連携コーディネーターを設け、産学金官連携支援の司令塔として、金融機関との連携強化による県内企業と大学等との橋渡し及びサポートを行うことで、産学金官連携に取り組む企業の拡大を図りました。また、産学のパイプ役となる金融機関の外交員に対して産学金官連携に必要な知識を提供する研修会やセミナー等を開催しました。

- ・技術動向情報収集 企業49件、大学等28件、金融機関18件、セミナー30件
- ・課題の掘り起し、情報提供、ニーズの橋渡し、シーズの紹介等 86件
- ・金融機関向け工作機械研修 2回
- ・フォローアップセミナーの開催 1回

2 研究開発の支援

(1) きらめき岡山創成ファンド（県補助事業）

新技術・新製品の研究開発を助成することにより、県内企業の成長を支援しました。
また、自動車関連サプライヤーの既存技術のE V対応のための研究開発を支援しました。

- ・一般型 新規 4 件、交付決定額 46,815 千円
- ・小規模型 新規 2 件、交付決定額 3,185 千円
- ・一般型（E V 対応） 新規 1 件、交付決定額 20,000 千円

(2) 戦略的基盤技術高度化支援事業（国補助事業）

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、鋳造、鍛造、切削、めっき等の中小企業のものづくり基盤技術の高度化について、革新的でハイリスクな研究開発から試作段階までの取組を支援する国の補助事業を活用して、以下の研究開発を推進しました。

- ・実施テーマ 6 件（新規 3 件、継続 3 件、補助額 202,372 千円）
 - ①低コスト・高生産性を実現する革新的有機半導体結晶膜塗布装置の開発
 - ②自動車用板金プレス部品のノンパラメトリック形状最適化とトポロジー最適化を組合せた軽量化技術の研究開発
 - ③大幅な CO2 低減を実現する世界初バイオマス由来の蓄熱材開発
 - ④フレキシブルエレクトロニクスの量産化に向けた耐久試験装置の高度化
 - ⑤3 次元 LSI の高効率生産を実現する SiC 半導体製造装置部品の革新的工法開発
 - ⑥自動車部品適用のための高強度化・高熱伝導マグネシウム合金の開発

(3) 次世代産業育成事業（県委託事業）

今後市場の拡大が見込まれる新エネルギー関連分野・次世代エレクトロニクス関連分野・人口知能、IoT などいわゆる第 4 次産業革命関連分野等の次世代産業分野等の技術力や応用可能性、また、大学等の研究者の技術シーズを把握し、産学連携を進める際の要となる産学連携コーディネーターを設置し、「おかやま次世代産業関連技術研究会」を通じて、県内企業に対し、次世代産業分野における最新の技術・市場動向に係る情報発信等を行い、次世代産業分野への県内企業の参入意欲の醸成や、大手企業等を含む産学官による多様な構成員同士の交流により、当該分野に係る新技術・新製品の開発や事業化に向けた取組を促進しました。

- ・企業・大学・公設試等への訪問による情報収集及び発信 105 社・機関
- ・企業と大学、公設試等とのマッチング 15 件
- ・おかやま次世代産業関連技術研究会の開催 2 回

また、製品・技術開発を加速化するためには、自社内のリソースだけでは対応困難であり、社外の技術を活用するオープンイノベーションの活用が効果的であることから、オープンイノベーション推進コーディネーターを配置し、“パワー半導体”、“フレキシブルデバイス”などの分野別に県内中小企業のグループによる研究会を組織し、専門家等の助言を基に参加企業等の連携等による新たな製品・技術提案を川下企業である大企業に行う事業を実施しました。

・「次世代産業研究開発プロジェクト創成事業費補助金」推進企業支援	13 社
・県内企業の研究開発推進に向けた補助金等各種制度の活用支援	28 件
・企業・大学・公設試等への訪問による情報収集及び発信	177 社・機関
・企業と大学、公設試等とのマッチング	40 件
・シーズ発信会の開催及びマッチング	1 回 2 件
・オープンイノベーション啓発セミナーの開催及びマッチング	2 回 22 件
・分野別異業種研究会の開催及びマッチング	6 回 13 件
(パワー半導体、IoT&AI、次世代電池、フレキシブルエレクトロニクス)	

(4) 研究開発促進事業（県委託事業）

コーディネーターを設置し、イノベーションに挑戦しようとする企業のニーズを捉え、研究開発から販路開拓の各段階で適切なアドバイスや専門家の派遣、産学官や企業間の連携調整を行い、研究開発の促進体制を強化しました。また、国、県等の競争的資金の説明会を開催し、広く周知するとともに、申請前から採択に至るまで伴走支援し、県内企業のイノベーションを売上げに結実するまで支援しました。

・ニーズ把握（96 件）、相談（111 件）、産学官マッチング（23 件）	230 件
・きらめき創成ファンド採択企業における事業進捗ヒアリングとフォロー	31 件
・支援制度、技術動向収集と企業への提供	38 回
・競争的資金の獲得支援	9 社
・研究開発等の企業支援制度説明会の開催	2 回

(岡山会場 142 人、津山会場 49 人)

(5) 難削材加工クラスター形成事業（県委託事業）

素材メーカーと連携し、現在取り組んでいる超耐熱合金や一般的なチタン合金の加工研修に加え、今後航空機分野での需要拡大が見込まれる高強度チタン合金の加工研修を行いました。また、他県の公設試験場や大学と連携して難削材加工技術を学ぶ講習会の開催や、加工技術のデータベース化とその共有、展示会、ネット、広報誌等を活用したPRを行いました。

・難削材加工技術スキルアップ研修の開催	1 回
・切削加工技術セミナーの開催	2 回
・難削材加工トライアル	13 社

(6) 医療機器開発プロモート事業（県委託事業）

医療機器分野におけるものづくり企業の競争力向上、技術力や知名度を向上させるための大規模な展示会への出展支援、独自展示会の開催等により、医療機器メーカーとのマッチングを促進し、さらなる取引拡大、新たな開発案件への参入を図りました。

・ ISO13485を基にしたQMS構築に向けた指導会	2回
・ 医療機器県外製造販売企業との情報交換会	1回
・ 個別商談会	2回
・ 県内企業見学会	1回
・ 関東経済産業局 医療機器・ものづくり商談会	1回
・ 介護福祉用具の実現に向けた商品化支援委員会の開催	1回
・ 医療機器、福祉機器商談件数	53件
・ MEDTEC japan2018出展支援	12社

(7) 技術振興事業（基金事業）

ものづくり産業の活性化を図るため、今後成長が期待される産業分野への進出を促進するために、研究開発や経営革新等、業種転換を進める中小企業の総合的な支援を行うことにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図りました。

・ 若手研究者の研究の助成	5件、助成額2,000千円
---------------	---------------

(8) 自動車産業育成事業（県委託事業）

三菱自動車工業㈱と日産自動車㈱との資本業務提携やEV普及の急激な進展、自動運転技術を始めとする次世代自動車技術の研究開発など、本県の基幹産業である自動車産業を取り巻く環境が変化している中、県内企業の新技術や新製品の研究開発やこれらの提案力の向上、受注増に向けた取引先の多様化を支援し、グローバルに通用する提案力と競争力を持つ企業への成長を促しました。

①自動車産業育成支援

・ 次世代自動車技術に関するセミナー	2回
・ 各種分科会による共同研究等の推進	8回
・ マーケティング力向上研修会	2回
・ 人とくるまのテクノロジー展2018出展支援	7社
・ オートモーティブワールド2019出展支援	5社
・ 岡山県自動車関連企業ネットワーク会議の運営支援	80社

②自動車開発技術ハンズオン支援

・ 現場改善リーダー育成研修	2社
----------------	----

③EV-PHV技術展出展支援

・ EVEX2018出展支援	7社
----------------	----

(9) EV関連技術対応促進事業（県委託事業）

EV関連技術に十分対応できる県内自動車関連企業は少なく、新技術・新製品の開発が急務となっていることから、県内企業が、EVの普及により新たに必要となる部品の製造や技術に対応できるよう、岡山県自動車関連企業ネットワーク会議とも連携し、セミナーの開催やEV関連企業視察調査、EVの構造研究等を実施し、経営者の意識付けや、開発者の意欲を高めました。

- ・EV関連セミナーの開催 2回
 - ・EV関連企業見学 2回
 - ・EVの構造研究活動 1回
- （車両貸出、走行チェック、車両分解、分解部品展示説明会、報告会）

(1 0) 自動車関連企業工場管理人材等育成事業（県委託事業）

県内の自動車関連企業で不足する、工場管理、生産管理等を担う人材を積極的に育成し、関連企業の安定的な経営、生産、品質確保を通じ、競争力強化を図るため、監督者及び中堅社員を対象に、自動車産業特有の大量生産や、多品種対応生産における、工程、コスト、品質管理、品質保証、課題発見などの研修を実施しました。

- ・自動車関連企業工場管理人材等育成研修 5回
- ・自動車工学基礎研修 5回

(1 1) ものづくり産業への工業デザイン導入支援事業（県委託事業）

様々な情報が多様なルートで提供され、製品の外観や機能が顧客への訴求力を強めている中、自社製品に工業デザインを活用する県内ものづくり企業は少ないことから、その導入を支援することにより、県内ものづくり企業の製品の高付加価値化や差別化、ブランド力の向上を促進しました。

- ・ものづくり・デザイン活用セミナーの開催 1回
- ・東京インターナショナル・ギフトショー春2019出展支援 3社

(1 2) 中堅企業成長支援モデル事業（県委託事業）

地域経済を牽引する中堅企業を育成するため、独自技術など潜在成長力を有する県内中小製造業者を対象に、マーケティング力の強化を中心とした支援チームにより、自社製品の開発や域外取引の拡大など企業の「稼ぐ力」の向上を図る新たなモデル事業を実施しました。

- ・支援企業の課題に応じた事業戦略、製品開発、販売促進方法等の助言 4社
- ・継続的フォローアップ 4社
- ・公募説明会、支援企業事例紹介 1回

(1 3) 地域中核企業創出・支援事業（国委託事業）

新事業展開に向けた事業化戦略の立案や顧客獲得のための販路開拓等を支援するなど、地域中核企業の更なる成長を支援しました。

- ・「次世代情報発信杭」ソリューションビジネスの構築

3 産業クラスター計画の推進

(1) 循環型産業クラスター計画の推進（県委託事業）

産業廃棄物を循環資源として活用する新技術・新商品の開発等により、県内環境産業の振興を図ることを目的として、中四国環境ビジネスネット（B-net）を設置し、産学官の連携により、中四国地域を視野に入れた広域でのビジネスマッチングやセミナーの開催などの活動に取り組みました。

また、プロジェクト会議を開催し、循環型産業の振興に向けて、専門家等の指導や助言、関係企業による先進的事例の考察、3R推進員等との意見交換など様々な方法で、県内企業等による新規プロジェクトの創出に繋がる活動・研究を行いました。

- ・環境サポーター・環境産業推進員による企業訪問、マッチング 190 社 71 件
- ・B-net フォーラムの開催 1 回
- ・プロジェクト会議の開催 2 回
- ・エコプロ 2018 出展支援 12 社・機関
- ・岡山県資源循環推進事業承認審査委員会 1 回

(2) バイオマスプラスチッククラスター活動の推進（県委託事業）

環境に優しく市場拡大が期待されるグリーンバイオ（生物機能利用技術）産業について、産学官が連携しながら、基礎となる技術や製品開発の推進、バイオマスプラスチックの利用拡大に向けた普及啓発等を通じて、グリーンバイオ産業群の育成及び資源循環型社会の構築を促進する「岡山バイオマスプラスチック研究会」の活動を推進しました。また、従来から情報発信を行っているプラスチック等製品関連企業のみでなく、地場産品（繊維や耐火物）等を対象とした CNF 実用化セミナーを開催し、川下側の裾野を広げました。

- ・岡山バイオマスプラスチック研究会の開催 1 回
- ・CNF 実用化セミナーの開催 1 回

(3) 福祉用具開発クラスター活動の推進（自主事業）

福祉用具等の開発・改良・商品化・販路開拓等に向け、製品や技術の PR・研修・情報交換の場を設けるなどの活動を通じて、利用者が真に必要としている福祉用具の開発・普及を促進するとともに、新規参入を促しながら福祉関連産業の振興を図ることを目的に、ハートフルビジネスおかやまの活動を推進しました。

- ・セミナー・講演会の開催 2 回
- ・福祉用具ワークショップの開催 1 回
- ・マッチングプラザ 2018 出展支援 11 社

(4) 自動車関連企業クラスター活動の推進（自主事業）

意欲ある県内自動車関連企業 80 社が自動車産業の新たな技術動向に関する最新情報を共有し、技術力や生産性の向上、人材育成、取引拡大等を主体的に取り組むことを目的とした「岡山県自動車関連企業ネットワーク会議」の活動を推進しました。

- ・自動車関連技術の最新動向等の講演会、セミナーの開催 2 回 ※再掲
- ・分科会（経営、人材、開発技術、生産技術、復興）の開催 21 回 ※一部再掲

4 岡山リサーチパークの周知活動

(1) 小中学生（家族）向け一般公開（基金事業・県委託事業）

平成 30 年 7 月豪雨による災害の影響を考慮して中止しました。

(2) 岡山リサーチパーク研究展示発表会開催事業（基金事業・県委託事業）

岡山県内研究者の技術シーズをテクノサポート岡山にて公開することで、県内研究者と県内企業とのマッチングを進めました。

- ・岡山リサーチパーク研究・展示発表会の開催
(展示 59 テーマ、プレゼンテーション 18 テーマ、参加 205 人)

5 下請企業の取引あっせん

(1) 取引情報の収集提供（県補助事業）

県内中小企業等の優れた加工技術を県内外発注企業に広く PR し、新規取引先の開拓支援を行うことで、下請企業の取引あっせんに努めました。

また、関東、東海、関西、九州地区に広域専門調査員を設置し、自動車関連産業等県内の受注ニーズに見合った発注案件を発掘することで、広域的な受注機会の拡大を図りました。

(2) 国内商談会等の開催

県内外発注企業を招聘し、県内中小企業等との面談を行う広域商談会の開催や、全国規模の見本市への出展、本社・工場が集積している大都市圏へ発注案件に適合する県内中小企業と出向き商談を行う現地商談会等の開催により、新規取引先の開拓支援を行いました。

また、日産自動車㈱等に対して、県内中小企業の優秀な技術や製品を PR する展示商談会を開催しました。

- ① 広域商談会の開催 1 回（県補助事業）

② 中国ブロック合同商談会の開催(広島)	1 回 (県補助事業)
③ 大都市圏企業との現地商談会の開催	5 回 (県補助事業)
④ 機械要素技術展への出展 (東京)	1 回 (県補助事業)
⑤ 名古屋機械要素技術展への出展	1 回 (県補助事業)
⑥ 大企業を対象とした展示商談会の開催	1 回 (県補助事業)
⑦ 個別商談会の開催	5 回 (県補助事業)
⑧ 個別展示商談会の開催	1 回 (県補助事業)
⑨ 航空・宇宙機器開発展への出展	1 回 (県委託事業)
⑩ 機械要素技術展への出展 (東京)	1 回 (岡山市委託事業)
⑪ 関西機械要素技術展への出展	1 回 (岡山市委託事業)

(3) 海外における市場開拓の支援 (県補助事業)

県内ものづくり企業の海外での販路開拓を支援しました。特に多くの日系企業が生産拠点として進出している東南アジア地域を中心に、展示会出展支援を行いました。

・海外展示会への出展	2 回
------------	-----

(4) 広域専門調査員の設置 (県補助事業)

県外企業を訪問し、自動車関連産業等に係る県内の受注ニーズに見合った発注案件を発掘するとともに、現地商談会等の調整などを行うため、関東、東海、関西、九州の各地区に1名の調査員を設置しました。

・関東地区担当	1 名
・東海地区担当	1 名
・関西地区担当	1 名
・九州地区担当	1 名

(5) 岡山県自立化推進研究会等の活動支援 (自主事業)

県内の中堅下請企業で構成する「自立化推進研究会」(4 グループ 82 社) 及び異業種交流・共同受注グループ (3 グループ 53 社) の活動を支援しました。

① ‘90 岡山県自立化推進研究会	例会 6 回
② ‘92 岡山県自立化推進研究会	例会 6 回
③ ‘94 岡山県自立化推進研究会	例会 6 回
④ ウイング岡山 21	例会 5 回

- | | |
|--------------|--------|
| ⑤ トラストネット未来 | 例会 4 回 |
| ⑥ ウイングウィン岡山 | 例会 5 回 |
| ⑦ メディカルネット岡山 | 例会 3 回 |

6 ミクロものづくり岡山ブランドの形成促進（県委託事業）

「ミクロものづくり岡山」のブランド形成を加速させるとともに企業の競争力強化を図るため、展示会出展や「ミクロものづくり岡山作品コンテスト」で優秀賞を受賞した企業の PR 冊子（フリーペーパー）を作成し、先端技術を有する県内企業を国内外に PR しました。

- ・機械要素技術展への出展（東京） ※再掲 1 回
- ・ミクロものづくり岡山作品コンテスト受賞企業の PR 冊子（フリーペーパー）の作成
- ・アンケート調査事業

7 精密ものづくり加工技術展示商談会事業（県委託事業）

県内ものづくり企業が一層の販路拡大に取り組むため、「ものづくり県おかやま」として県下全域の優れた精密加工技術力及び技術開発力を有する企業を一堂に集め、県内外のメーカー等に向けて PR しました。

- ・おかやまテクノロジー展 (OTEX) 2019 の開催 172 社・機関出展

8 岡山県内中小企業の景況調査（県委託事業）

県内中小企業の景況状況を定期的に把握するため、年間 4 回（5 月・8 月・11 月・2 月）、対象企業 750 社に対しアンケート調査を実施し、調査報告書を作成しました。

9 航空機産業クラスターの形成推進（県委託事業）

一貫生産の進む航空機業界において体制構築の可能性を探りながら、本県産業のポテンシャルの高さをアピールすることにより、西日本における航空機産業拠点の構築を目指すことを目的とし、展示会への出展支援を行いました。

- ・航空・宇宙機器開発展への出展 ※再掲
- ・航空機関連企業の工場視察

1 0 販路開拓・拡大支援（県補助事業、自主事業）

県内企業と岡山県にゆかりのある首都圏在住の企業経営者（岡山ビジネスサポーターズ）、ディーラー、バイヤー等とのネットワークを構築し、販路開拓に関する助言により販路支援を行いました。

- ・岡山ビジネスサポーターズ・ミーティングの開催 2 回（延べ 120 人）

※平成 30 年度下請企業の取引あっせん実績

・展示会・商談会	21 回（内、海外 2 回）
・あっせん件数	4,155 件
・成約件数	364 件
・当初成約金額（3 カ月ベース）	1,304,484 千円

1 1 知的財産を活用したものづくりの推進

（1）知財総合支援窓口の設置（国請負事業）

中小企業等が抱える知的財産に関する課題の解決を支援するため、一般社団法人岡山県発明協会と連携して「岡山県知財総合支援窓口」を設置しました。

窓口には 5 人の窓口支援担当者を配置し、必要により弁理士等知財専門家と連携しつつ、窓口または現地にて課題解決を支援しました。

- ・窓口支援担当者が対応した相談案件数 2,411 件

知財専門家と連携した支援	328 件
〔内、知財専門家（弁理士等）の窓口支援	144 件〕
〔内、知財専門家の派遣等	178 件〕
〔内、その他専門家の派遣等	6 件〕

- ・電子出願端末利用件数出願件数 113 件

（内、特許願 18 件、実用新案登録願 5 件、意匠登録願 3 件、商標登録願 17 件、その他 70 件）

（2）外国出願に関する支援

中小企業者等の海外展開支援の一環として、知的財産を外国出願する際の経費を補助しました。

- ・特許 7 件
- ・商標 5 件
- ・補助金額 4,372 千円

VI 国等のプロジェクト支援（プロジェクト推進部事業）

岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点及び岡山県エキスパート人材支援センターは、民間人材ビジネス事業者と連携し、プロフェッショナル人材の活用による「攻めの経営」やエキスパート人材の活用による「生産性の向上」を支援しました。

岡山県よろず支援拠点は、県内中小企業の経営基盤の強化に向け、他の支援機関と連携しながら、創業、販路拡大、経営革新、ICTの活用等の支援に取り組みました。

また、岡山県中小企業再生支援協議会、岡山県経営改善支援センター及び岡山県事業引継ぎ支援センターの活動を通じ、企業再生、経営改善及び事業引継ぎの促進に努めました。

1 プロフェッショナル人材のマッチング支援（県委託事業）

成長戦略の具現化に必要な人材の確保に悩む県内中堅・中小企業に対し、都市部の大手企業等で豊富な経験を有するプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行い、新事業の展開や新技術の開発など県内企業の経営革新を図りました。

また、地域で高まるプロフェッショナル人材ニーズに対応するため、都市部大企業等と連携した人材交流を推進しました。

・民間人材ビジネス事業者の登録	29 社
・相談件数	628 件
・民間ビジネス事業者への取次ぎ	128 社（246 人）
マッチング成立	47 人
・大企業への人材ニーズの取次ぎ	33 人
大企業との人材交流の成約	4 人

2 エキスパート人材のマッチング支援（県委託事業）

県内中堅・中小企業の生産性向上や製品・サービスの高付加価値化を図ることを目的に、岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点、民間人材ビジネス事業者、産業支援機関及び金融機関と連携し、県内企業とエキスパート人材とのマッチング支援を行いました。

・民間人材ビジネス事業者の登録	29 社
・相談件数	308 件
・民間ビジネス事業者への取次ぎ	97 社（202 人）
マッチング成立	29 人

3 岡山県よろず支援拠点の運営（国委託事業）

売上拡大、生産性向上等の経営相談に応じ、中小企業・小規模事業者の課題を分析し、一定の解決策を提示するとともに、フォローアップを実施しました。

相談者の利便性向上のために、岡山サテライトオフィス、倉敷サテライトオフィス及び津山サテライトオフィスを設置するとともに、「出前よろず支援拠点」として、商工会、商工会議所、市町村及び金融機関と連携して定期的に出張相談を実施しました。特に、平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧・復興を支援するため、真備船穂商工会等へコーディネーターを派遣し、災害に関する特別相談を行いました。

また、「売上アップ」、「販売促進」、「IT 活用」等のテーマ別に 2 名～3 名の少人数制の勉強会や、経営知識習得や相談者同士の交流によるビジネスマッチングを促す「よろず Café」を開催しました。

・相談対応件数	14,025 件
・来訪相談者数	9,464 人
・課題解決件数	518 件
・出前よろず支援拠点の開催	495 回
・平成 30 年 7 月豪雨災害に関する特別相談対応件数	462 件
・よろず勉強会の開催	208 回
・よろず Café の開催	11 回

4 中小企業等の再生支援

（1）中小企業再生支援協議会による再生支援（国委託事業）

企業の再生や再建に豊富な知識と経験を有するマネージャーによる窓口相談を行うとともに、外部専門家と協力し、再生計画の策定支援を行いました。

・再生計画策定支援	15 件
・抜本案件	5 件
・経営者保証に関するガイドライン利用	5 件
・フォローアップ件数	85 件

（2）経営改善支援センターによる経営改善支援（民間委託事業）

中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関が実施する経営改善計画策定支援の費用の一部を負担し、中小企業・小規模企業者の経営改善、事業再生を支援しま

した。

・経営改善策定支援 相談件数	211 件
・経営改善計画策定支援件数	43 件
・早期経営改善支援 相談件数	179 件
・早期経営改善計画策定支援件数	112 件

(3) 事業引継ぎ支援センターによる事業承継支援（国委託事業）

後継者不在などで事業の存続に悩みを抱える県内中小企業や、これら経営資源を引き継ぐ意志のある県内中小企業の相談に対応するため、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援を行いました。

・相談対応件数	341 件
・成約件数	20 件

Ⅶ 産業人材の育成と情報化支援等（総務部事業）

財団の運営及び利用促進のための各種施策を企画推進しました。また、中小企業の階層及び分野別の様々な研修、IT 分野、IS09001、新入社員合同入社式等に関する研修を企画・開催し、産業人材の育成を支援しました。加えて、財団が実施している各種支援策の PR や県内中小企業の情報などを掲載した情報誌の発行、インターネット上での「産業支援ネットワーク」の運営などを通じて有用な情報の発信を行いました。

1 産業人材の育成

（１）研究開発に必要な人材育成（県委託事業）

自動車産業をはじめとした県内製造業における設計・開発力の強化を図るとともに、電気・電子関連や精密測定等の知識の習得により技術力を強化するため、実証講義を開催し、県内企業の人材育成を図りました。

- | | |
|-------|---------------|
| ・実証講義 | 19 コース（223 人） |
| | 役立度 4.20/5.00 |

（２）生産現場の改善支援（県委託事業）

ものづくり中小企業の生産現場に、合理性を追求したトヨタ生産方式の指導者を派遣し、生産性の向上やコスト削減の助言を行いました。

- | | |
|------------|-----|
| ・現場改善研修の開催 | 4 社 |
|------------|-----|

（３）ものづくり系企業の人材育成（県委託事業）

中小企業の経営者から若手社員までを対象に、階層別研修のほか経営管理・労務・営業・生産・技術など分野別研修を通して、生産性向上を目指し経営基盤の強化を支援しました。

- | | |
|------------------|---------------|
| ・産業人材の育成・確保事業の開催 | 23 コース（383 人） |
| | 役立度 4.60/5.00 |

（４）サービス産業の人材育成（県委託事業）

サービス産業は、現場で「人」が付加価値を提供しており、労働力不足による厳しい事業環境の中、定着につながる研修を充実しました。また、従業員の質を高めるため、スキルアップ研修を実施しました。

- | | |
|---------------------|---------------|
| ・ビジネス人材や女性のスキルアップ研修 | 22 コース（520 名） |
|---------------------|---------------|

(5) 新入社員の育成（自主事業）

中小企業に採用された新入社員を対象に、社会人としての心構えやルールを身につけるための、合同研修を行いました。

- ・新入社員合同研修、合同入社式の開催 1 回（33 社・64 人）

(6) ISO 内部監査員の養成支援（自主事業）

ISO9001 を取得している、もしくはこれから取得を目指す内部監査担当者を対象にしたセミナーを行い、企業のマネジメントシステムの構築維持を支援しました。

また新担当者が参加しやすい入門コースの研修も実施しました。

- ・ ISO9001 研修（入門コース） 1 回（29 人）
- ・ ISO9001 研修（内部監査員養成コース） 1 回（30 人）

2 グローバル人材の育成・確保

(1) 日本人留学生の人材育成支援（県委託事業、民間委託事業）

県内の大学に在籍し、自身の課題をチャレンジ精神と行動力で遂行し、留学先での交流や様々な実践活動を行う日本人留学生に奨学金を交付するとともに、県内企業へのインターンシップを通じて、地域に貢献したいという志を持つ人材を育成し、グローバル化を進める県内企業への就職に繋げました。

- ・日本人留学生への奨学金の支給 6 人
- ・県内企業へのインターンシップ支援 6 人（6 社）

(2) アジア人留学生を活用した海外展開支援（自主事業）

県内の大学に在籍しているアジアからの留学生をビジネス人材として育成・確保することにより、県内中小企業等の海外における事業展開を支援しました。

具体的には、県内中小企業者へのインターンシップ、就職マッチング、奨学金の給付等を行い、総合的な支援を行いました。

- ・アジア人留学生への奨学金の支給（36 万円/人） 16 人（うち冠企業分 6 人）
- ・インターンシップ情報の収集・提供 企業 44 社・留学生 65 人
- ・県内中小企業等とアジア人留学生との就職マッチング 企業 69 社・留学生 71 人

3 おかやま産業情報の発行等（自主事業）

財団活動の広報を行うとともに経営の一助としてもらうため、県内企業に対し、財団の実施事業や各種施策等について情報提供する「おかやま産業情報」を発行しました。

- ・おかやま産業情報の発行 年 6 回発行（毎回 4,000 部 春号のみ 4,500 部）

4 中小企業の情報化支援

（1）中小企業の IT 支援（基金事業）

IoT や AI といった分野をはじめ、急速に普及している IT 化の中、中小企業に対して、IT に対する理解を深め、IT を利用した業務効率化を促す講習会を開催した。

中小企業の課題とされている IT 人材の育成や中小企業者からの情報化に関する各種相談に注力しました。

- ・ IT 講習会の開催 6 コース（102 名）

（2）岡山県産業支援ネットワークの運営（県補助事業）

県内中小企業者の IT 対応を促進するために、情報ハイウェイを活用した岡山産業情報の発信拠点（ポータルサイト）を整備・運営し、県内企業情報等のデータベースの構築を図るとともに、有益なイベント情報、各種支援施策等をメールマガジンにより発信しました。

また、IT の最新動向や、有用な事例を紹介するセミナー等を開催しました。

- ・ 情報セキュリティセミナーの開催 1 回（113 名）
- ・ メールマガジンの発行 51 回

5 テクノサポート岡山の施設管理・運営（県委託事業）

「テクノサポート岡山」の管理者として、施設内の技術情報ライブラリー、展示室、会議室等の管理運営を行いました。

- ・ 会議室利用件数 968 件
- ・ 技術情報ライブラリー利用者数 2,703 人